



No.4. 2025. 6. 27

週 1 回ではありますが、子どもたちの感性に驚かされ、日々移ろう美しい森の中で過ごし、スタッフと共に汗を流しながら、心動かされる日々を過ごしています。いつもありがとうございます。

今回はこの原稿で、子どもの頃から思っていた

「心が透けて見えるといいのにな」

という密かな願望について、書いてみたいと思います。

*

保育士資格試験で、「心の理論」というものを学びました。

ひとが他人の心の状態や目的、意図や知識などを推測する心の機能のことで、「サリーとアンの課題」と呼ばれる実験が有名です。

サリーとアンの話は割愛しますが、2-3 歳の子どもはそもそも「心の理論」がまだ備わっていない状態で、人の心が推察できません。自閉症児はこれが理解できないことが多いといわれます。

我が家の息子は小学校 2 年生の頃、ASD（自閉スペクトラム症）と診断されました。ひとの気持ちが変わりやすく、すぐ癇癪を起したり、自分が感じたことを正しいと主張することが多かったです。今は高校生になり、衝動性はなりをひそめ、他者理解もちょっとはしているような…（反抗期なので、よくわかりませんが）。

かく言うわたしも、この「心の理論」が弱い傾向があり、人の心を推察しづらいことを自覚しています。そのことに関しては、困りながら生きてきました。人の心がからんだ複雑な状況把握が苦手で、たとえば、冗談を言われると、真に受けすぎて瞬時に理解できなかつたりするのです。

特に！スタッフのかよさんのジョークは難しい…！

さらに育った家庭が、家族同士で、本当に感じていることをあまり言わないような家庭だったので、なおさら思っていたのです。

「ひとの心が透けてみえるといいのになあ」

*

今年の3月に、スタッフの聖子さんの舞台「〇〇さん家のものがたり」を観劇しました。ちょっと一言では言えない、衝撃がありました。聖子さんがおばあちゃん役で出てきたときに、泣きだすひとがたくさんいました。あとで聞いても、なぜ涙が出たのか説明しようとしてもできない人が多く、「ただ感じた」と。

わたし自身、「こういうおばあちゃん確かにいる。すごい。リアル！」とクスッと笑ってしまうと同時に、おばあちゃんの人生が「今」に凝縮しているような、体験してきたであろう愛や喜び、絶望や痛みが、いま喋った言葉のふるえや、瞳の奥、ひとつの動きのなかにすべて詰まっているような、そんな感じがして、笑いながら涙が出るような、そんな不思議な体験をしました。

なんだか、心が、その人が、透けて見える。スケルトン感。

怒っている人がふたをしている繊細な感情や、笑っている人が隠している苦しさなど、大人になればなるほど、表と裏が乖離し、心の層は分厚くなって、わかりづらくなっていきます。

舞台を見たあとは、なんだか出会う人出会う人、生きてきた過去や抱えている気持ちが透けて見えるような気がして、とても優しい気持ちになりました。心の理論が弱いわたしも、こうして、人の心の奥の方と、出会いたかったんだなと思いました。

*

ぴっぴの子どもたちは、いつもその心を、たくさんの笑顔や涙で素直に表してくれます。子どもたちに会うたび、ほっとします。そして、その心に寄り添う大人たちがまわりにたくさんいることも、私にとっては非常に大きな救いです。

非常勤スタッフ

&おおくり「呼吸の時間」担当

西川真木枝

庭の恵みを食べよう! 遊ぼう! 楽しもう! 7月

庭に虫を呼ぼう♪ 自然と共に育む、虫と植物の素敵な関係

庭はたくさんの生き物たちがくらす小さな生態系、特に虫たちは植物と深く関わりながら庭を豊かにしてくれています。食草(虫たちが食べる草のこと)となる植物は自然の循環を支えています。今月は初夏〜夏でよくみられる、昔の人々に愛されている風流で面白い虫と植物たちとの関係をちよっぴりご紹介いたします。↓



Mulberry
7/13
金天分(アミノ酸)
ビタミンC
アントシアニン
効果。

『琥珀星天牛』
玉留璃色の星のカミキリ
その美しい色から
切手や文学作品にも
登場しています



ルリボシカミキリ
日本固有種

木造建屋や丸太なども食べて、
しまつて困った一面も。



衣食(衣)を齧るの
スーパーヨリガゴ
グリの葉でつくられた
ヨリガゴ

ヨリガゴも
つくりあげる
のに約1時間
半ほどかかると
人だに10畳の
カーペットを
1人でおり
たにむ
くらの大変な作業



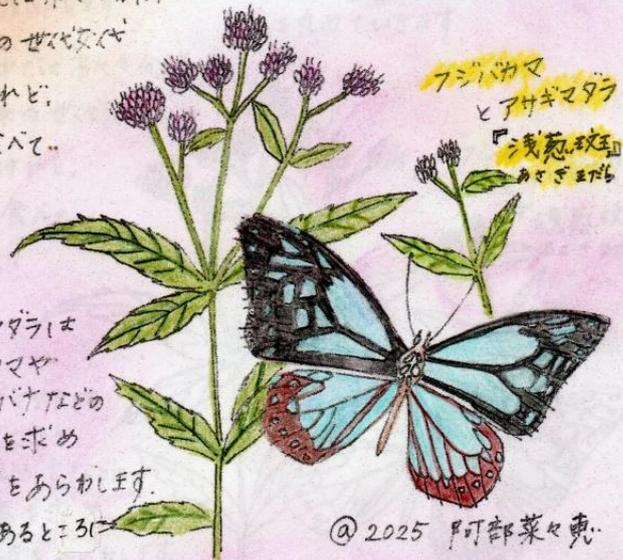
オトシゴシ
『落し文』

1cmにもみたない小さな虫、
はらばらみ切って、糞色の1mmほどと
の卵を産みつけて、
葉を丸めていきます。



キボシカミキリ
『黄星天牛』

クワの草上で交尾、葉も食べる
カミキリムシの仲間、日本
だけでも800種以上もいるぞ!!



アサギマダラ
とアサギマダラ
『浅葱蝶』
あさぎまがら

アサギマダラは
フジバカマや
セヨドリバナなどの
花の蜜を求め
秋に姿をあらわします。
花のあるところに

@ 2025 阿部菜々

優雅でゆったりとした羽ばたきが魅惑的
なアサギマダラ。
商売に利用されたいのか... とい西日に下りますが、
なんと幼虫の頃から日本に毒をためこんで!
(毒のある植物を食べる) 身を守、いるぞぞぞ。
旅をする(渡りをする) 蝶としても有名で
2500kmもの距離を移動して! という記録も!



アカツクサ

モンキチョウ
『糸文黄蝶』
もんき

シロツクサ

『天道虫』
テトウムシ
花につく
アゲハを食べる

アカツクサやシロツクサの葉を食べ、葉の表
に小さな卵をうみまわす。成虫は花の蜜も大好物

...虫と植物の関係を知らることで
庭はもっと魅力的な場所になりますよ!

たはだより

お田植え、無事に終わることができました！

お天気の影^影響でなかなか日程が定まりませんでした。そんな中来て下さったみなさまありがとうございます！

今年7年めになるあの場所でのお米作りですが、おとし過去最高の収量を達成することができました。ですが、保管場所が足りないことなどから、去年はあえておとしよりは少なめの収量を目標したのですが、なんとついでこのあいだひらひら米を食べ終わってしまうという少なさだったのです（カーン…むずかしい）。

ということで今年には収量を増やしたい願望がわたしの田んぼ熱を上げているところです。ひらひらでのお田植えの3日後にほろひら、ひらでも続きをしました。（こちらも参加くださったみなさまありがとうございます！）

あとはお天気頼みと草取りです。田んぼウォークしながら草とりしながらおいしいお米の収穫を夢見ながらおしゃべりしながらお米作りに関わっていただけだったら嬉しいです。 はるこ